

特定非営利活動法人日本火山学会 2006 年秋季大会プログラム

期日：2006 年 10 月 23 日（月）、24 日（火）、25 日（水）

場所：リゾートホテル阿蘇いこいの村 2F (<http://www.aso.ne.jp/~asoikoi/>)

〒869-2224 熊本県阿蘇市蔵原 1420 TEL:0967-34-2151

J R 豊肥本線いこいの村駅から徒歩 15 分. また J R 阿蘇駅からの送迎を予定しております.

連絡先・責任者名：鍵山恒臣 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター

〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 5280 電話: 0967-67-0022

A 会場：りんどう B 会場：ゆうすげ ポスター会場：多目的ホール

受付：2F ロビー 休憩室：杵島 大会実行本部：烏帽子

懇親会：10 月 24 日（火）講演会終了後 リゾートホテル阿蘇いこいの村

(〒869-2224 熊本県阿蘇市蔵原 1420 TEL:0967-34-2151)

現地討論会：10 月 25 日（水）～26 日（木）「阿蘇中央火口丘群・阿蘇火砕流堆積物の観察」

【口頭発表スケジュール】

		A 会場	B 会場
23 日 (月)	午前 09:30～12:00	火山の地質・形成史(1)	噴火のダイナミクスと火山構造
	午後 13:15～17:15	火山の地質・形成史(2) 火山の化学	火山の物理(1)
24 日 (火)	午前 09:15～12:15	火山の岩石学(1)	火山とテクトニクス
	午後 13:15～17:30	火山の岩石学(2)	火山の物理 (2) 臨時総会
25 日 (水)	午前 09:15～12:30	火山教育・阿蘇火山	活動的火山と防災

【ポスター発表スケジュール】

	掲示開始	コアタイム	撤収	
23 日（月）	10 : 00	17:30-18:30	18:30	P01-P48,P103
24 日（火）	10 : 00	17:30-18:30	18:30	P49-P102

大会中に開催される各種委員会や集会（カッコ内は担当者）

23 日（月）12:00-13:15 杵 島 火山噴火予知研究委員会（清水、森田）

18:30-21:00 B 会場 火山防災委員会（中村）

18:30-20:00 A 会場 火山教育WG（林）

24 日（火）12:15-13:15 杵 島 COV 準備委員会（中田）

16:30-17:30 B 会場 臨時総会（藤井）

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、3 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

なお、各会場で使用できる機器、及び、ポスター発表のパネルサイズは下記の通りです。

A、B 両会場とも液晶プロジェクタ 1 台、スクリーン 1 面があります。OHP やスライドプロジェクタは用意できませんのでご注意ください。

パネルの大きさは、縦 180cm×横 90cm です。ポスター会場には電源がありませんので、パソコンやビデオの使用はできません。

展示ブース出展団体

（株）近計システム、京大防災研・火山活動研究センター、九州火山ネットワーク、白山工業(株)、阿蘇火山博物館、地熱エンジニアリング（株）、ジオサーフ（株）、産総研・地質調査総合センター

A 会場

火山の地質・形成史(1)
座長：三宅康幸・奥野 充

9:30-9:45

A01 九重火山, 久住山系の熱ルミネッセンス年代測定
※奥野充・稲永康平・高島勲・他 3 名

9:45-10:00

A02 有珠火山, 最初期テフラの年代と噴火様式
※小林哲夫・宮縁育夫

10:00-10:15

A03 AMS radiocarbon dating of paleosols intercalated with
tephra layers from Mayon Volcano, southern Luzon,
Philippines - A preliminary report
※Ma.Hannah Mirabueno・Mitsuru Okuno・
Toshio Nakamura・他 2 名

10:15-10:30

A04 白頭山北麓, 東方沢の炭化樹幹の ^{14}C ウィグルマッチン
グ
※八塚慎也・奥野充・中村俊夫・他 6 名

10:30-10:45

A05 長白山天池火山の過去と未来
※魏 海泉・谷口宏充・宮本毅・他 1 名

休 憩 10:45-11:00

A06 欠番

11:00-11:15

A07 日光男体火山における 12Ka よりも若い火山噴出物の発
見
※三宅康幸・齋藤美由紀・竹下欣宏

11:15-11:30

A08 東北日本弧, 1888-1900 年に起こった, 水蒸気爆発によ
る低温火砕サージの特徴
※藤縄明彦・伴雅雄・紺谷和生

11:30-11:45

A09 カムチャッカ・カリムスキー火山 1996 年と三宅島 2000
年のマグマ水蒸気噴火の比較
※中田節也・野口 聡・小園誠史・他 6 名

B 会場

噴火のダイナミクスと火山構造
座長：宮城磯治・市原美恵

9:30-9:45

B01 桜島ブルカノ式噴火火山灰の岩石組織と空振強度の関係
※三輪学央・寅丸敦志

9:45-10:00

B02 伊豆大島 1986 年 CB スコリア丘の粒度組成 ～準プリ
ニー式噴火噴煙柱における粒子の分配～
※萬年一剛・穴戸美由紀・伊藤孝

10:00-10:15

B03 加速するマグマは硬くなるか軟らかくなるか
※市原美恵

10:15-10:30

B04 現実的な地形上を流れる火砕サージの 3 次元シミュレー
ション
※石峯康浩

10:30-10:45

B05 溶結現象における脱水の効果
※大瀧恵一・中村美千彦

休 憩 10:45-11:00

11:00-11:15

B06 水蒸気分圧が珪酸塩メルトの発泡と脱ガスに与える影響
※井上雅喜・佐伯和人

11:15-11:30

B07 透気性のない独立性泡沫から透気性の高い連続気泡泡沫
への相転移：マグマ脱ガスメカニズムの解明にむけて
※宮城磯治

11:30-11:45

B08 火山用アクロスでは何が見えるか？一重音波と電磁波ア
クロスの特徴—
※藤井直之・鶴我佳代子・笠原順三・他 4 名

11:45-12:00

B09 Magma distribution beneath Mt. Fuji, Japan:
Constraints provided by three-dimensional b-values
and velocity tomography
※David Bridges・Jonathan Lees・
Eisuke Fujita・他 1 名

A 会場

火山の地質・形成史（2）

座長：安井真也・長橋良隆

13:15-13:30

A10 近畿地方の第四紀テフラ層序に基づく大規模爆発的噴火の層位と噴出体積

※長橋良隆・小林聡子・奥平敬元・他 3 名

13:30-13:45

A11 浅間火山 1108 年噴火の追分火砕流堆積物の本質ブロックの形態

※安井真也・下斗米朋子・高橋正樹

13:45-14:00

A12 地質学と古地磁気学からみた大山弥山北方の山塊と堆積物の諸特徴とその意義

藤代祥子・※沢田順弘・兵頭政幸

14:00-14:15

A13 島根半島坂浦・赤浦に分布する前期・中期中新世の水底スパター堆積物

※鹿野和彦・中野俊・石塚吉浩

14:15-14:30

A14 大分県国東半島北西部の新生代火山発達史

※堀川義之・永尾隆志

14:30-14:45

A15 伊豆弧・富士山 9 世紀一斉噴火について

※津久井雅志・齋藤公一滝・林 幸一郎・他 1 名

14:45-15:00

A16 鹿児島県トカラ列島、小臥蛇島の噴気活動

※中野俊・下司信夫

休 憩 15:00-15:15

A 会場

火山の化学

座長：森俊哉・久利美和

15:15-15:30

A17 草津白根山山頂火口湖の水質変化

※木川田喜一・井上綾・池畑梢・他 1 名

15:30-15:45

A18 浅間山 2004 年噴火噴出物の焼き出し法による水素同位体比測定

※久利美和・中村美千彦・竹内晋吾

15:45-16:00

A19 火山噴煙中の $\text{SO}_2/\text{H}_2\text{S}$ と CO_2/SO_2 比の測定

※影澤博明・首藤知昭・森俊哉・他 5 名

16:15-16:30

A20 火山噴煙中の二酸化硫黄の可視化: その 2

※森俊哉・山本圭吾

16:30-16:45

A21 伊豆大島火山カルデラ内における土壌 CO_2 濃度の連続観測（2）

※渡辺秀文

B 会場

火山の物理（1）

座長：高木朗充・村瀬雅之・河野裕希

13:15-13:30

B10 マグマ溜りの深さがカルデラ形状に与える影響

※楠本成寿

13:30-13:45

B11 有限要素法シミュレーション結果データベースを用いた地殻変動モデル推定手法の開発

※福井敬一・北川貞之・高木朗充・他 2 名

13:45-14:00

B12 圧力源の形状は地表面変位からどの程度識別できるか

※高木朗充

14:00-14:15

B13 深さに比して相対的に大きな半径を有する球圧力源による地表面変位 ー有限要素法による数値計算ー

※坂井孝行・山本哲也・福井敬一・他 3 名

14:15-14:30

B14 水準測量から推定する 1902-2005 浅間山圧力源体積時間依存モデル 2

※村瀬雅之・伊藤武男・宮島力雄・他 10 名

14:30-14:45

B15 火山域における水準測量の高精度化の試み ー大気屈折誤差の考察ー

※石川溪太・木股文昭・宮島力雄・他 1 名

14:45-15:00

B16 精密水準測量から観測された神津島の地殻上下変動（2006 年 3 月まで）

※木股文昭・宮島力雄・村瀬雅之・他 4 名

休 憩 15:00-15:15

15:15-15:30

B17 有珠山の中長期前兆上下変動

※森済

15:30-15:45

B18 多機関 GPS 連続観測データの統合解析により見出された十勝岳の火山性地殻変動

※山田晃子・村上亮・宗包浩志・他 7 名

15:45-16:00

B19 噴火終息後に見られた雲仙火山周辺の地殻変動

※河野裕希・松島健

16:15-16:30

B20 精密 DEM を用いた地殻変動の時空間解析ー有珠山での試み（その 3）

※岡田純

16:30-16:45

B21 有珠 2000 年噴火終息後の重力変化

※大島弘光・前川徳光・植木貞人・他 5 名

16:45-17:00

A22 三段階で脱ガスした雲仙普賢岳溶岩

※大場武・平林順一・野上健治・他1名

17:00-17:15

A23 イタリア、エトナ火山の火山ガス供給過程

※篠原宏志・AiuppaAlessandro

16:45-17:00

B22 2006年フィリピン・レイテ島岩屑なだれ地域における重力探査

※牧野雅彦・Allan Mandanas・Sandra G.Catane

10月23日(月) ポスターセッション(P01~P48)

ポスター会場 コアタイム 17:30~18:30

P01 北海道知床半島の完新世テフラ層序

※中村有吾・丸茂美佳

P02 プリニー式噴火が卓越する火山の地質学的特徴 後支笏カルデラ、樽前火山の噴火史および噴出量の再検討

※古川竜太

P03 北海道東部、摩周火山約7000年前のカルデラ形成噴火

※岸本博志・中川光弘

P04 堆積物の定置温度と産状から考える大正泥流の発生機構

※上澤真平・宮地直道

P05 秋田焼山周辺に分布する十和田大不動火砕流堆積物

※筒井正明・小林哲夫

P06 蔵王火山、東麓に分布するテフラの年代について

※三浦光太郎・伴雅雄・八木浩司

P07 塩嶺-八ヶ岳火山地域、追分地溝の形成時期：八子ヶ峰火山の形成年代を中心に

※及川輝樹・西来邦明・名取克裕

P08 八ヶ岳地域の火山活動ステージの新たな区分

※西来邦章・高橋康・松本哲一・他2名

P09 北八ヶ岳火山と烏帽子火山群の火山形成史 小諸層群の更新統火山岩類との対比に基づく考察

※高橋康

P10 先富士火山の発達史

※小山田浩子・中田節也

P11 伊豆大島火山地形と層序の再検討 一元町東マール・湯場マールの提唱とN1部層から886年新島向山テフラの検出

※津久井雅志・林 幸一郎・齋藤公一滝

P12 室生火砕流堆積物の給源火山は紀伊山地・大台コールドロン

※佐藤隆春・古山勝彦・茅原芳正・他3名

P13 後期中新統隠岐島前火山のK-Ar年代と活動様式の変化

※土志田潔・三浦大助・橘川貴史・他3名

P14 隠岐島前岩脈群におけるマグマ組成と岩脈厚さ・卓越方位

※三浦大助・土志田潔・荒井健一・他4名

P15 雲仙眉山火山の形成史 -ボーリングコア試料の岩相記載および全岩化学分析-

※杉本健・星住英夫・清水洋

P16 新期雲仙火山の火砕流堆積物の熱ルミネッセンス年代測定

※守安誠・奥野充・高島勲・他1名

P17 雲仙火道掘削(USDP-4)コアにおける熱水変質と二次鉱物の検討

※濱崎聡志・黒川将・中田節也・他1名

P18 南部九州肥薩火山区“洪水安山岩”の産状と模式的形状

※長峰智・長谷義隆・永尾隆志

P19 鬼界カルデラ 7.3ka 噴火における大規模火砕流の海域流入とそれに伴う津波の発生過程

※前野深・谷口宏充・今村文彦

P20 鹿児島県トカラ列島口之島火山の成長史

※下司信夫・中野俊

P103 トカラ列島火山噴出物のK-Arおよび¹⁴C年代

※松本哲一・太田靖・中野俊・他2名

P21 朝鮮民主主義人民共和国における白頭山10世紀噴火噴出物調査報告

※宮本毅・中川光弘・嶋野岳人・他2名

P22 韓国鬱陵島U-4,U-3,U-2テフラと鬱陵隠岐テフラの対比と¹⁴C年代

※椎原美紀・鳥井真之・奥野充・他2名

P23 AMS radiocarbon dating of charcoal fragment from the Irosin Ignimbrite, Sorsogon Province, southern Luzon, Philippines

※Ma. Hannah Mirabueno・Mitsuru Okuno

・Toshio Nakamura・他3名

P24 中米・エルサルバドル、コアテベケカルデラの後期更新世の噴火層序とテフラの分布

※北村繁・Walter Hernandez・Carlos Pullinger

P25 静穏期における有珠山の微小地震活動(序報)

※青山裕・為栗健・鬼澤真也・他9名

P26 地震観測網で検出された富士山の雪代による振動

※鷗川元雄・奥水達司・内山高

P27 三宅島2000年火山活動におけるカルデラ形成直前に頻発する低周波地震の解析

小林知勝・※大湊隆雄・井田喜明・他1名

P28 人工地震による磐梯火山の構造探査、(2)地震記録の振幅分布

※植木貞人・磐梯火山人工地震探査グループ

- P29 1986 年伊豆大島火山噴火フェイズ II に伴う全磁力変化の再検討
※笹井洋一・村上亮
- P30 地形の影響を考慮した茂木モデルによるピエゾ磁気効果
※山崎明・坂井孝行
- P31 浅間山の深さ 3 km 以浅の比抵抗構造
浅間火山電磁気 構造探査グループ・※相澤広記
- P32 SA インバージョンによる由布院盆地の 2 次元地下構造
※井上直人・楠本成寿・竹村恵二
- P33 有珠山の MT 法比抵抗探査 2006 年集中観測序報
※橋本武志・山谷祐介・市原寛・他 9 名
- P34 樽前火山山頂ドーム周辺における AMT 比抵抗探査(2)
※山谷祐介・橋本武志・鈴木敦生・他 4 名
- P35 鬼首間欠泉の電磁気観測-噴気に伴う比抵抗変化
※三島誠司・佐保圭祐・小川康雄・他 1 名
- P36 九重火山における繰り返し空中磁気観測～1995 年噴火に伴う磁場時間変化検出～
※宇津木 充・田中良和
- P37 有珠 2000 年噴火終息後の比高変化
※吉田友香・大島弘光・森済・他 11 名
- P38 震源データと地殻変動データを用いた岩脈モデルの推定
※上田英樹・山本英二
- P39 ENVISAT 衛星の合成開口レーダーによる干渉処理 ーくじゅう・阿蘇・霧島・桜島地域の干渉性と地殻変動検出ー
※小林茂樹・大倉博・大村誠・他 3 名

- P40 衛星合成開口レーダ干渉法による白頭山周辺の地殻変動検出の試み
※小澤拓・谷口宏充
- P41 干渉 SAR コヒーレンス画像を用いた溶岩流の検出 ニアムラギラ火山の例
※北川貞之・福井敬一・高木朗充
- P42 レーザーラマン分光法による火山ガス組成遠隔観測の試み
※大場武
- P43 二酸化硫黄放出率計測システムの改装 (その 1)
※森健彦・風早康平・大和田道子・他 4 名
- P44 SRTM 地形データを用いた火山地形の可視化
※千葉達朗・鈴木雄介・荒井健一・他 1 名
- P45 航空機搭載型 MSS(VAM-90A)による 2000 年～2005 年の浅間山火口内温度分布把握
※實測哲也・鶴川元雄
- P46 空振計ネットを用いた空振源決定についてー桜島および三宅島での場合ー
※藤原善明・山里平・坂井孝行
- P47 西南日本とマヨン火山における噴煙自動観測
※金柿主税・木下紀正・土田理・他 2 名
- P48 LavaSIM によるエトナ山 2001 年噴火溶岩流シミュレーション
※Cristina Proietti・Maria Marsella・Mauro Coltelli・他 3 名

10 月 24 日 (火) 午前

A 会場

火山の岩石学(1)

座長：津根明・石塚治・佐野貴司

9:15-9:30

- A24 斜長石結晶サイズ分布 (Crystal Size Distribution) 形成に関する 1 気圧溶融実験からの検討：結晶成長速度の分散の示唆
※中村敬介・佐藤博明

9:30-9:45

- A25 粒成長しつつある多結晶体中における流体分布の時間発展
※中村美千彦・古郡秀彦

9:45-10:00

- A26 斜長石にみられる斜交した溶解表面の記載とその成因
※津根明

10:00-10:15

- A27 富士火山から約 2200 年前に噴出したスコリアの化学組成と空隙率の関係
※佐野貴司・植田匡喬

10:15-10:30

- A28 浅間火山天明降下軽石堆積物軽石のみかけ密度および全岩化学組成の時間変化
※加藤史恵・安井真也・高橋正樹

B 会場

火山とテクトニクス

座長：杉本健・西村太志

9:15-9:30

- B23 ASTER で観測されたインドネシア、メラピ火山の熱異常
※浦井稔

9:30-9:45

- B24 日本におけるマール形成の地形場 (離岸距離と離水比高)
※鈴木隆介

9:45-10:00

- B25 火山の形態とマグマ供給系：伊豆半島付近の火山を例に
※井田喜明

10:00-10:15

- B26 噴火規模のリアルタイム推定の試み
※高橋浩晃・岡崎紀俊・上田英樹・他 1 名

10:15-10:30

- B27 火山噴火の爆発性と地殻変動
※西村太志

休 憩 10:30-10:45

10:45-11:00

A29 浅間火山の小諸軽石流中に見られるスコリアの斑晶メルト包有物ー揮発性成分に富む発泡したマフィックマグマの混合

※山口佳昭・山口珠美・太田靖

11:00-11:15

A30 東北日本弧仙岩地域におけるマントル構造と火成岩の成因

※上木賢太・岩森光

11:15-11:30

A31 伊豆・小笠原弧の火山活動史と島弧の成長

※藤岡換太郎・木戸元之・石塚治

11:30-11:45

A32 伊豆弧八丈島における地殻内長距離マグマ輸送過程の検討ー八丈島近海火山列形成メカニズムー

※石塚治・下司信夫・伊藤順一・他2名

11:45-12:00

A33 小笠原群島母島離島の地質と岩石

※金山恭子・海野進・石塚治

12:00-12:15

A34 山口県長者ヶ原の火山地質と岩石

※高橋和子・古山勝彦

休 憩 10:30-10:45

10:45-11:00

B28 体積歪変化量を用いた伊豆東部火山群のマグマ貫入量推定と火山活動評価の試み

※宮村淳一・上野寛・松島功・他3名

11:00-11:15

B29 伊豆東部の群発地震活動に先行する地殻変動

※村上亮

11:15-11:30

B30 2006年伊豆半島東方沖ダイク貫入過程ー過去のダイク貫入過程との比較ー

※森田裕一・酒井慎一

11:30-11:45

B31 マグマ溜りの結晶化と揮発成分析出に伴う圧力変化による、噴火の拘束の可能性

※松本光央・江原幸雄

11:45-12:00

B32 剪断変形に伴う流紋岩質メルト中の気泡の合体

※奥村聡・中村美千彦・土山明

12:00-12:15

B33 マグマ溜まりにおけるマグマの熱・物質進化の速度：利尻火山、杓形・種富溶岩流からの制約

※栗谷豪・横山哲也・中村栄三

10月24日(火) 午後

A 会場

火山の岩石学(2)

座長：柵山徹也・嶋野岳人

13:15-13:30

A35 アセノスフィア由来の火山活動 その1：日本海溝東海域深海底アルカリ玄武岩類の結晶分化と噴火脱ガス

※竹原直希・高橋栄一・平野直人

13:30-13:45

A36 アセノスフィア由来の火山活動 その2：日本海溝東海域深海底アルカリ玄武岩類の成因

※高橋栄一・竹原直希・平野直人

13:45-14:00

A37 上昇マントルの累進的な融解ー北西九州北松浦玄武岩からの制約

※柵山徹也

14:00-14:15

A38 由布・鶴見火山群のマグマ起源(その2)ー微量元素およびSr,Nd,Pb同位体組成による制約ー

※杉本健・柴田知之・芳川雅子・他1名

B 会場

火山の物理(2)

座長：山本希・坂中伸也・松島喜雄

13:15-13:30

B34 GAMIT プログラムによる古野電気GPS受信機データの解析手法の開発

※島田誠一・上田英樹・風神朋枝

13:30-13:45

B35 浅間山山頂域で観測された長周期火山性地震の波形インバージョン

※前田裕太・武尾実・大湊隆雄

13:45-14:00

B36 火山性微動源モデルとしての楕円形流体溜りの固有振動

※山本希

14:00-14:15

B37 富士山の低周波地震のスペクトル構造

※鵜川元雄

14:15-14:30

B38 熱水系不安定振動による定量的 banded tremor モデル

※藤田英輔

14:15-14:30

A39 フィリピン海プレートの沈み込みが北部九州のソースマントルに与えた影響 ―火山岩のホウ素含有量を用いた検討―

※三好雅也・下野まどか・福岡孝昭・他 2 名

14:30-14:45

A40 沈み込み帯形成最初期における角閃岩相スラブの脱水とボニナイトマグマ形成

※石川剛志・永石一弥

休 憩 14:45-15:00

15:00-15:15

A41 高温高压条件でのマグマと水のその場観察実験：火山弧の下のスラブ由来物質は超臨界流体である

※川本竜彦・神崎正美・三部賢治・他 2 名

15:15-15:30

A42 The Origin of the Sheeted Dike Complex beneath the Mid-Ocean Ridges --- Insights from Ocean-Floor Drilling of Oceanic Crust Formed at Intermediate-Versus Superfast-Spread Ridges

※Susumu Umino・L. Crispini・他 3 名・IODP Expedition 309&312 Scientific Parties

15:30-15:45

A43 諏訪之瀬島火山2000-2003年噴火におけるマグマの火道上昇と噴煙高度変化

※嶋野岳人・井口正人

15:45-16:00

A44 桜島新島観測井ボーリングコア試料の岩石学的検討 (1) 全岩化学組成と桜島安永噴火

※大槻明・高橋正樹・安井真也・他 2 名

16:00-16:15

A45 桜島新島観測井ボーリングコア試料の岩石学的検討 (2) 桜島安永「海底」噴火の再検討

※高橋正樹・横田美里・大槻明・他 3 名

14:30-14:45

B39 伊豆大島の3次元磁気構造と1986年噴火以降の地磁気変化

※植田義夫・小野寺健英・熊川浩一

休 憩 14:45-15:00

15:00-15:15

B40 有珠山自然電位観測2006

※長谷英彰・橋本武志・西田泰典・他 2 名

15:15-15:30

B41 岩手山焼走り登山道沿いの自然電位

※坂中伸也・西谷忠師

15:30-15:45

B42 Three-dimensional Electromagnetic Image of Kusatsu-Shirane Volcano

Nurhasan.・※Yasuo Ogawa・Naoto Ujihara 他 2 名

15:45-16:00

B43 雲仙火山北東部における浅部比抵抗構造と熱水の流れ

※小森省吾・鍵山恒臣・宇津木充・他 5 名

16:00-16:15

B44 数値シミュレーションによる薩摩硫黄島火山熱水系の考察

※松島喜雄

臨 時 総 会 (B会場) 16:30~17:30

10月24日(火) ポスターセッション(P49~P102)

ポスター会場 コアタイム 17:30~18:30

P49 岩手山周辺の地震発生の規則性と噴気活動との相関 ―1926年以降の地震記録にもとづく検討―

※土井宣夫・菅野正人

P50 中央北海道南部、後期漸新世高カリウム粗面安山岩～高アルミ玄武岩の検討 日本海・オホーツク海の拡大とマントルダイナミクス―

※米島真由子・岡村 聡・国安 稔・他 2 名

P51 CSDから見た有珠火山におけるマグマ混合

※東宮昭彦

P52 蔵王火山、約30～10kaの噴出物の層序と岩石学的特徴

※武部義宜・伴雅雄

P53 蔵王火山、五色岳火砕岩の岩石学的特徴

※佐藤光・三浦光太郎・伴雅雄

P54 東北日本、白鷹火山のマグマ供給系の変遷

※廣谷志穂・伴雅雄・中川光弘

P55 浅間山の最近50年間に噴出した溶岩の岩石学的研究

※川村希・中田節也

P56 伊豆小笠原弧、宝暦海山の玄武岩中のカンラン石とクロムスピネル包有物の化学組成について

※宿野浩司・石塚治・田村芳彦・他 2 名

P57 九州-琉球弧第四紀マグマの島弧縦断方向化学変化傾向
※柴田知之・小林哲夫・西村光史・他 2 名

P58 九州南部に産する火山岩起源物質中のホウ素含有量の空間的・時間的変化
※下野まどか・三好雅也・福岡孝昭・他 2 名

P59 長崎県平戸島の岩脈に見られる縞構造について ～縞構造を形成する気泡・斑晶・石基の組織解析～
※吉田牧子・寅丸敦志

P60 長崎県西彼杵半島北部の火山岩類の岩石学的研究
※角縁進・長峰加奈

P61 始良火砕噴出物にみられる鉛直組成変化
※西村光史・柴田知之・小林哲夫・他 1 名

P62 イタリア・ヴェスヴィオ火山の西暦 472 年噴火のマグマ進化に関する岩石学的研究
※山崎優・安田敦・新堀賢志・他 4 名

P63 HIMU 端成分マンツルの岩石学的・化学的特徴
※川畑博・羽生毅・常青

P64 封圧下における雲仙火道掘削コアの浸透率・弾性波速度同時測定
※清水悠太・渡辺了・野口聡・他 2 名

P65 粒子と気泡を含む流体の粘性率の測定とその困難さに関する考察
※並木敦子・マイケル マンガ

P66 減圧発泡過程における珪長質マグマのガス浸透率の変化：減圧速度依存性
※竹内晋吾・東宮昭彦・篠原宏志

P67 高温下における貴金属の再結晶に対する化学雰囲気の効果（序報）
※笠井裕美子・中村美千彦

P68 火山教育ワーキンググループの 3 年間
※林信太郎・伊藤英之・火山教育 WG

P69 巡回展「三宅島火山～その魅力と噴火の教訓～」
伊藤和明・三松三朗・※池辺伸一郎・他 9 名

P70 萩の自然こどもサマースクール：大島火山のなぞをさぐる
福田靖子・※永尾隆志・樋口尚樹・他 6 名

P71 平成新山がんばんランド 夏休み親子火山実験教室 「火山をまるかじり!!」
※吉田大祐・渡邊篤志・河野裕希・他 2 名

P72 2006 年版十勝岳火山防災マップ
※伊藤英之・吉田真理夫・内柴良和・他 5 名

P73 磐梯火山と安達太良火山のハザードマップに関する一考察
※小荒井衛・藤縄明彦

P74 由布岳・鶴見岳・伽藍岳火山防災マップ
※山中和雄・安養寺信夫・伊藤義明

P75 雲仙岳 1991 年 6 月 3 日の火砕流における人的被害
※杉本伸一

P76 三宅島火山災害 軽減・共生に向けての一試案
※大島治

P77 コア間隙水の同位体組成からみた岩手火山山麓の地下水流動系
※安原正也・稲村明彦・伊藤順一・他 7 名

P78 ボーリングコア解析による岩手火山の噴火活動史の検討
※伊藤順一・松本哲一

P79 岩手火山における重力探査
※住田達哉・牧野雅彦・渡邊史郎・他 1 名

P80 岩手山周辺地域における地下水流動系へのマグマ性揮発性物質の散逸
※大和田道子・風早康平・伊藤順一・他 8 名

P81 北海道雌阿寒岳 2006 年 3 月の小噴火
※廣瀬亘・岡崎紀俊・石丸聡・他 12 名

P82 2006 年雌阿寒岳小噴火前後の地震活動の推移
※重野伸昭・志賀透・飯野英樹・他 5 名

P83 雌阿寒岳山麓における温泉および河川水の水質変化
※村山泰司・岡崎紀俊・萩野激・他 3 名

P84 2006 年 6 月に発生した桜島昭和火口からの噴火活動
※平松秀行

P85 エネルギー積算から見た最近の桜島の火山活動
※菅井明・稲葉博明・末峯宏一・他 3 名

P86 産総研に保管されていた桜島噴火映像
※川辺禎久・中野俊

P87 桜島火山における空中磁気探査
※大久保綾子・田中良和・神田径・他 3 名

P88 桜島火山歴史時代噴火の岩石学的研究
※富樫泰子・宮坂瑞穂・中川光弘

P89 桜島火山の歴史時代噴火軽石のメルト包有物分析とマグマの揮発性成分濃度
※斎藤元治・河野美香・宮城磯治・他 1 名

P90 阿蘇火山における地震活動-HypoDD による震源再決定-
※大倉敬宏・岡本響・Raul Armando SALGUERO GIRON 他 1 名

P91 阿蘇火山中央火口丘の浅部地震反射断面
※筒井 智樹・須藤靖明・森健彦・他 1 名

P92 阿蘇火山中岳第一火口・湖水変動量の定量的見積もり
※寺田暁彦・佐々木寿・橋本武志・他 3 名

P93 阿蘇中岳火山の二酸化硫黄および二酸化炭素ガス放出量の測定
齋藤政城・※松島健・松尾のり道・他 1 名

P94 阿蘇中央火口丘群火山岩の Sr 同位体比
※新村太郎・荒川洋二・小林洋二

P95 阿蘇中央火口丘のテフラ層序と爆発的噴火史
※長岡信治・中村有吾・奥野充

P96 Aso-4 軽石 190kg から分離したジルコンの FT 年代測定
※檀原徹・岩野英樹・福岡孝昭・他 1 名

P97 Aso-4 熔結凝灰岩で作られた石棺
中井弥生・※福岡孝昭・新藤智子・他 2 名

P98 阿蘇地域遺跡の黒曜石石器の原石産地
中井弥生・※新藤智子・福岡孝昭・他 2 名

P99 火山探査移動観測ステーション MOVE の伊豆大島火山観測演習
※谷口宏充・後藤章夫・市原美恵・他 12 名

P100 高圧ガスを用いた火山爆発模擬実験ーその 4: 圧力波形ー
※後藤章夫・古川剛・小川俊広・他 3 名

P101 野外調査道具としての無人観測機の開発
※佐伯和人

P102 大島・三原山山頂域における無人ヘリ磁気探査
※小山崇夫・本多嘉明・梶原康司他 5 名

A 会場

火山教育・阿蘇火山

座長：吉川美由紀・宮縁育夫・高木憲朗

9:15-9:30

A46 山口県萩市の小・中学校での火山教育

※永尾隆志・山下智之・藤田尚子・他 1 名

9:30-9:45

A47 火山地域にくらす子どもたちの学習

※吉川美由紀・池辺伸一郎・佐藤よしみ・他 3 名

9:45-10:00

A48 先阿蘇からカルデラ形成期にかけてのマグマ特性の時間変化
ー火山岩類の Sr 同位体比からの考察ー

※新村太郎・荒川洋二

10:00-10:15

A49 阿蘇火山中岳火口近傍域の堆積物(1) ー昭和 8 年噴火に関連する噴出物ー

※宮縁育夫・池辺伸一郎・渡辺一徳

10:15-10:30

A50 阿蘇火山中岳, 1988~1995 年活動期における噴火様式の変化

※池辺伸一郎・渡辺一徳・宮縁育夫

休 憩 10:30-10:45

10:45-11:00

A51 ウイーヘルト地震計記録にみる阿蘇火山の爆発活動

※坂口弘訓・沢田順弘・須藤靖明

11:00-11:15

A52 阿蘇火山で観測される短周期火山性微動震源の卓越周波数の特徴

※高木憲朗・金嶋聰・川勝均・他 3 名

11:15-11:30

A53 阿蘇火山中岳火口における噴湯現象の画像解析

※鍵山恒臣・田中良和・池辺伸一郎

11:30-11:45

A54 阿蘇中岳火口湯溜まりの水収支・熱収支問題再考 (1991-2000)

※橋本武志・池辺伸一郎

11:45-12:00

A55 阿蘇火山中岳火口湯溜まりの水・熱・塩化物イオン収支

※齋藤武士・大沢信二・橋本武志・他 3 名

12:00-12:15

A56 阿蘇火山における空中磁気観測~これまでの研究成果と今後の展望~

※宇津木 充・田中良和

B 会場

活動的火山と防災

座長：為栗健・伊藤英之・岡崎紀俊

9:15-9:30

B45 最近 10 年間の GPS 観測データから見た 2006 年 6 月桜島昭和火口における噴火活動

※井口正人・味喜大介・福嶋麻沙代

9:30-9:45

B46 桜島火山の 2006 年 6 月昭和火口噴火前後に発生したモノクロマティック地震の特徴とモーメントテンソル解析

※為栗健・井口正人

9:45-10:00

B47 2006 年 6 月の桜島南岳東斜面での噴火と地球化学的観測

※野上健治・平林順一・石原和弘・他 4 名

10:00-10:15

B48 映像記録から見た 2006 年 6 月の桜島火山昭和火口噴火の特徴

※横尾亮彦・井口正人・石原和弘

10:15-10:30

B49 GIS を用いた桜島大正溶岩の再検討

※佐々木寿・小林哲夫

休 憩 10:30-10:45

10:45-11:00

B50 最近の桜島火山噴煙活動と火山防災マップを活用した防災教育

※坂本昌弥・木下紀正

11:00-11:15

B51 秋田県湯沢、泥湯温泉の火山ガス事故

※平林順一・野上健治

11:15-11:30

B52 連続および繰返し GPS 観測による雌阿寒岳 2006 年の小噴火に伴う地殻変動

※岡崎紀俊・高橋浩晃・志賀透・他 1 名

11:30-11:45

B53 監視カメラ映像に見る雌阿寒岳 2006 年 3 月 21 日噴火

※稲葉千秋・佐々木寿・矢野政博・他 1 名

11:45-12:00

B54 火山学のアウトカム評価ー2000 年有珠と三宅島噴火の比較

※須藤茂

12:00-12:15

B55 三浦綾子「泥流地帯」取材ノートの記述解析とその火山防災学的意義

※伊藤英之・林信太郎・三浦光世・他 1 名

12:15-12:30

B56 雌阿寒岳の 2006 年の小噴火・・減災課題とコミュニケーション

※岡田弘

国際会議のお知らせ

CITIES ON VOLCANOES 5

第5回 火山都市国際会議 島原大会



日時： **2007年(平成19年)
11月19日(月)-23日(金)**

場所： 島原市 雲仙岳災害記念館
島原復興アリーナ

主催： 日本火山学会 島原市

共催： IAVCEI・九州大学理学研究院
東京大学地震研究所

火山都市国際会議は、火山学分野の国際学術組織であるIAVCEI(国際火山学地球内部化学協会)が開催している国際フォーラムです。この大会は、火山学だけではなく様々な分野の研究者や行政関係者、防災関係者が火山活動の社会に与える影響について議論する会議であり、危機管理、都市計画、社会学、心理学、教育なども含んだ連携作業を行うことにより、火山災害の軽減を目指しています。

Symposia: Volcano studies (sector collapse and large-scale eruptions), Volcano monitoring and forecasting eruptions, Mitigation of volcanic disaster (hazard map), Crisis management, Warning systems and roles of mass media & internet, Health issues, physical and economic impacts, Land use and sabo plans, and volcanic hazards (lahars), Recovering process and lessons from devastation, Education and outreach activity on volcanoes

Date	Morning	Afternoon	Evening
Sunday, November 18	Registration		Ice Breaker Party
Monday, November 19	Opening Session Keynote Speech	Symposium	
Tuesday, November 20	Keynote Speech Symposium	Symposium	
Wednesday, November 21	Field Trip (Unzen Volcano)		Mayor's Party
Thursday, November 22	Keynote Speech Symposium	Symposium	
Friday, November 23	Keynote Speech Symposium	Symposium Joint Statement Closing Session	Farewell Party

Field trips: (Pre) Usu & Hokkaido-komagatake, Izu-oshima & Miyakejima, Fuji & Hakone, Asama & Kusatsu-shirane, Satsuma-io & Southern Kyushu (Post) Unzen & Aso, Sakurajima & Kaimon

今後の予定： Second Circular配布 2007年1月 参加登録開始 2007年2月
Abstract 締切 2007年5月1日 早期参加登録締切 2007年7月1日
日本火山学会や日本災害情報学会の秋季大会も同時期に島原市での開催が計画されています。

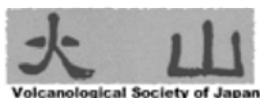
火山都市国際会議 島原大会 事務局

〒855-0879 長崎県島原市平成町 1-1 雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)内

TEL:0957-65-5540 FAX:0957-65-5542

MAIL: convention@citiesonvolcanoes5.com

URL: <http://www.citiesonvolcanoes5.com/>



講演会のお知らせ

日本火山学会第 13 回公開講座

「火山学 Q&A in 熊本ー火山学者に直接聞いてみよう」

主催：特定非営利活動法人 日本火山学会

日時：10 月 22 日（日）13 時～16 時 30 分

場所：熊本大学工学部 2 号館（〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1）

参加料無料

プログラム

特別講演 「火山神と火山活動（仮題）」 石黒 耀（作家）

公開講座 Q&A

司会 伊藤和明

質問は下記で受付中

http://www.soc.nii.ac.jp/kazan/J/QA/question_kumamoto.html

火山の実験

【お問い合わせ先】 〒113-0023 東京都文京区向丘2-8-7 Crest本郷202 日本火山学会事務局

TEL:03-3813-7421（FAX兼用） E-mail:kazan@khaki.plala.or.jp

小学生の研究発表 「めざせ一流！われら阿蘇の研究者」

子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動

主催：めざせ一流！われら阿蘇の研究者実行委員会（(財)阿蘇火山博物館久木文化財団内）

共催：財団法人 阿蘇火山博物館久木文化財団、特定非営利活動法人 阿蘇ミュージアム

特定非営利活動法人 日本火山学会

日時：10 月 22 日（日）13 時～16 時 30 分

場所：熊本大学工学部 2 号館（〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1）

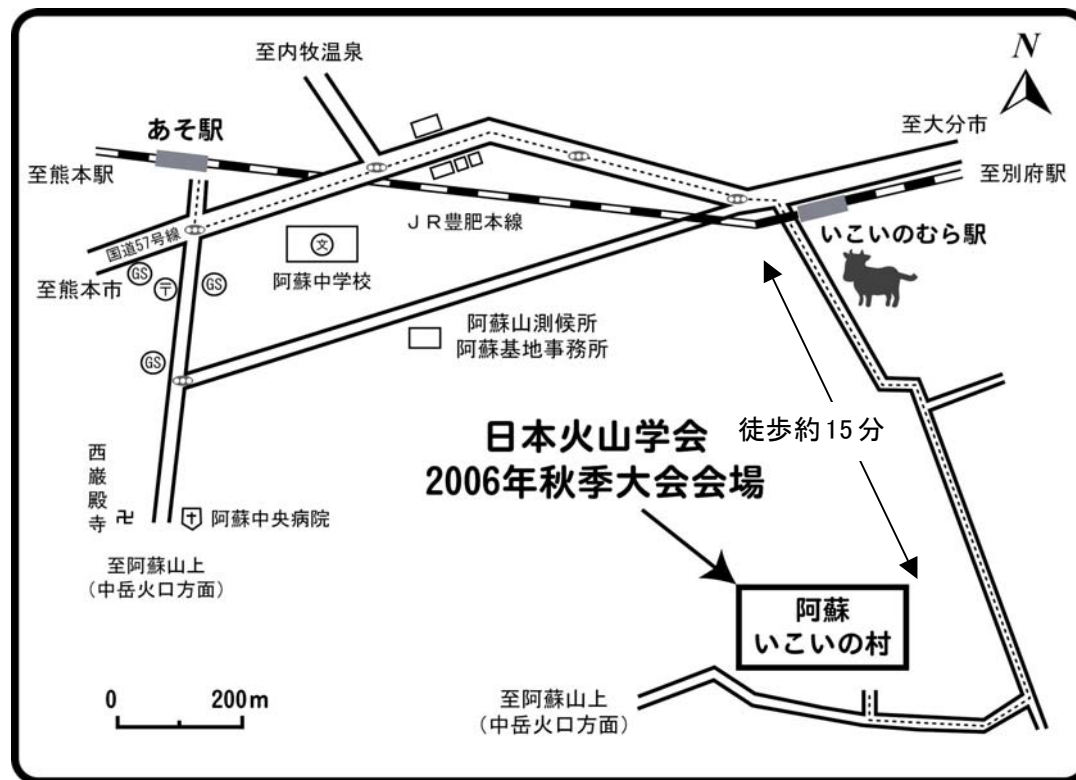
参加料無料

ポスター掲示 13 時～16 時 30 分

ポスター前説明 13 時 40 分～14 時

ポスター発表 14 時～14 時 30 分





JR 豊肥本線時刻表（熊本空港～JR 肥後大津駅はタクシーで約 10 分です）

運賃					特急			特急			特急			特急						
円	熊 本	05:11	06:25	07:22	08:32	08:42	09:59	11:37	11:57	12:28	13:23	14:36	14:40	16:17	17:36	17:49	18:09	19:30	20:31	21:40
450	肥後大津	05:50	07:06	07:59	09:03	09:25	10:51	12:08	12:32	13:09	14:04	15:09	15:21	16:52	18:08	18:26	19:06	20:10	21:15	22:26
720	立 野	06:08	07:21	08:15	09:16	09:40	11:07	12:20	12:52	13:29	14:29	15:22	15:37	17:08	18:23	18:42	19:20	20:27	21:31	22:39
1080	阿 蘇	06:52	07:51	08:43	09:40	10:08	11:38	12:44	13:24	14:07	14:59	15:45	16:06	17:38	18:47	19:14	19:52	20:58	21:59	23:11
1080	いこいの村	06:56	07:54	08:49	レ	10:17	11:41	レ	13:26	14:10	15:02	レ	16:08	17:41	レ	19:17	19:57	21:04	22:02	23:15
自由席							特急				特急				特急			特急		
特急券	いこいの村	05:33	06:14	06:37	07:37	08:44	レ	10:31	12:17	12:53	レ	13:55	14:42	16:20	レ	17:52	18:42	レ	19:52	20:58
円	阿 蘇	05:36	06:17	06:40	07:40	08:46	10:14	10:33	12:20	12:55	13:41	13:57	14:45	16:22	16:41	17:55	18:47	19:44	19:55	21:01
300	立 野	06:10	06:43	07:05	08:12	08:51	10:40	11:04	12:53	13:31	14:06	14:30	15:20	16:52	17:07	18:25	19:22	20:09	20:28	21:33
600	肥後大津	06:22	06:55	07:17	08:24	09:38	10:51	11:16	13:07	13:45	14:17	14:50	15:37	17:22	17:18	18:43	19:34	20:23	20:43	21:45
600	熊 本	06:55	07:35	07:55	09:04	10:22	11:21	11:55	13:43	14:17	14:49	15:37	16:17	17:57	17:49	19:21	20:16	20:50	21:22	22:23

九州産交バス 特急やまびこ号（大分-熊本） 快速かじか号（杖立-熊本） 熊本駅～阿蘇駅前 1220 円

	大分行	大分行	杖立行	大分行	大分行	大分行	杖立行	大分行	大分行	大分行	大分行	杖立行	大分行
熊 本 駅	07:21	08:51	09:40	10:21	11:21	12:51	13:30	13:51	14:51	15:51	16:51	17:40	18:21
熊本交通センター	07:30	09:00	09:49	10:30	11:30	13:00	13:39	14:00	15:00	16:00	17:00	17:51	18:30
熊本県庁前	07:46	09:16	10:08	10:46	11:46	13:16	13:58	14:16	15:16	16:16	17:16	18:13	18:46
熊本空港	08:08	09:38	10:34	11:08	12:08	13:38	14:24	14:38	15:38	16:38	17:38	18:40	19:08
大津駅南口	08:22	09:52	10:48	11:22	12:22	13:52	14:38	14:52	15:52	16:52	17:52	18:52	19:22
阿蘇駅前	08:57	10:27	11:26	11:57	12:57	14:27	15:16	15:27	16:27	17:27	18:27	19:28	19:57
終 点	11:01	12:31	12:28	14:01	15:01	16:31	16:18	17:31	18:31	19:31	20:31	20:28	22:01
	杖立発	大分発	杖立発	大分発	大分発	大分発	杖立発	大分発	大分発	大分発	大分発	大分発	大分発
始 発	06:20	06:55	09:20	08:25	09:25	10:25	11:55	13:50	12:55	14:25	15:55	16:55	18:25
阿蘇駅前	07:22	09:00	10:21	10:30	11:30	12:30	14:00	14:51	15:00	16:30	18:00	19:00	20:30
大津駅南口	08:00	09:35	10:58	11:05	12:05	13:05	14:35	15:28	15:35	17:05	18:35	19:35	21:05
熊本空港	08:14	09:49	11:09	11:19	12:19	13:19	14:49	15:39	15:49	17:19	18:49	19:49	21:19
熊本県庁前	08:38	10:11	11:30	11:41	12:41	13:41	15:11	16:00	16:11	17:41	19:11	20:11	21:41
熊本交通センター	08:58	10:27	11:45	11:57	12:57	13:57	15:27	16:15	16:27	17:57	19:27	20:26	21:56
熊 本 駅	09:06	10:35	11:53	12:05	13:05	14:05	15:35	16:23	16:35	18:05	19:35	20:34	22:04